

長野中央病院 4階北病棟に入院されていた患者様へ
当病棟における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年10月20日

「後期高齢者の一般急性期病棟における大腿骨近位部骨折術後の在院日数実態調査」
に関する臨床研究を実施しています。

長野中央病院倫理委員会の承認を受け、病院長の許可を得て実施しています。
この研究は「人を対象とする生命化学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	NCH25-11
研究課題名	後期高齢者の一般急性期病棟における大腿骨近位部骨折術後の在院日数実態調査
所属（診療科等）	長野中央病院 4階北病棟 整形外科・腎臓・内分泌・糖尿病内科 看護師
所属責任者（職名）	武田直美
研究実施期間	2025年11月1日～2026年1月31日
研究の意義・目的	後期高齢者の大腿骨近位部骨折患者の年齢、性別、入院から手術までの日数、術後離床開始日数などを調査し、入院期間の評価を行い 今後の退院支援に生かすことを目的としています
対象となる患者さん	2025年1月1日～6月30日の間に4階北病棟から退院された患者様。 75歳以上の大腿骨近位部骨折の手術を行った方
利用する診療記録	診断名/年齢/退院先/術式/身体機能/検査結果など
他機関から試料・情報を受ける方法	なし
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	武田直美
研究代表者	武田直美
問い合わせ先	長野中央病院 4階北病棟 武田直美

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。
研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会等に発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあります、引き続き使わせていただくことがあります。